



学校教育目標 「地域に誇れる 地域が誇れる加茂小の子 ～自分よし 相手よし みんなよし～」
令和8年度重点目標『やってみよう』

加茂小だより

令和8年度
7月号

1学期の「やってみよう」

4月7日の始業式で、子供たちにこんな投げかけをしました。

「やってみよう」で一步前に進もう。みんなの「やってみよう」で加茂小を笑顔でいっぱい
の学校にしよう。そして、みんなで新しい加茂小を創ろう。

1学期、子供たちはいろいろな場面で「やってみよう」の姿を見せてくれました。

1年生は国語の「おおきなかぶ」で、劇に挑戦しました。自分たちで役を決め、役になり切って劇ができました。給食の配膳も協力して短時間でできるようになりました。



2年生は学級会で雨の日の遊びについて話し合い、室内遊び大会を開きました。担任の力を借りず、自分たちの力で、楽しく遊ぶことができました。

3年生は自分で計画を立てて学習を進める「自学」を始めました。自分のためにどんな学習をすればいいのか考えて学習をしています。

4年生も自学を頑張っています。疑問に思ったことを調べ、追究する中で疑問が生まれ、さらに追究していく、という学びの連続が生まれています。

5年生は観音山自然教室で、自分たちで考えて行動することができました。その力をさらに伸ばそうと、自分たちで企画・運営し、みんなが楽しめる学年集会を開きました。やってみて課題が見つかったので、2学期にも計画したいと考えています。

6年生は授業の中で、自学の中で自分のめあてを決め、それに向かって「やってみよう」と取り組んでいます。また、学級の「きらほか」だけでなく下級生の「きらほか」を見つけて放送し、「きらほか見つけ」の輪を広げようとしています。

委員会活動でも、加茂小をもっとみんなが過ごしやすい学校にしようと、常時活動を改善したり、企画を立てて実施したりと自分たちで考え、動いています。

自分の苦手なことに挑戦している子、みんなで決めたことを守ろうと気を付けている子、みんなが楽しく過ごせるようにと声掛けをしている子等々、紹介しきれないたくさんの「やってみよう」があります。その子なりの「やってみよう」があります。

「やってみよう」の種は、自分への信頼です。それを育ててくださっているのは御家庭や地域の皆様の温かいまなざしです。学校教育活動への御理解、御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

夏休みにも子供たちの「やってみよう」がたくさん生まれると思います。温かな見守りをどうぞよろしくお願いいたします。

(校長 板倉 真里)